

小田急線「秦野駅」副駅名
「出雲大社相模分祠」最寄駅

古来よりほおずきはお盆の花としてお供えされる。日本での一番古い記録をみると古事記の中でヤマタノオロチの瞳が赤いことをほおずきを用いて表現されている。諸説あるが、炎のようには明るいほおずきの赤い実を提灯に見立てて、お盆に帰ってくるご先祖様の道しるべとしてお飾りする。夏の野菜や果物といっしょに神棚や御霊舎へ、我が家のやり方でお盆をお迎え下さい。

夏の風物詩・ほおずき市朝顔市

七月一日〜八月三十一日の二か月間、下記の通り夏詣を実施します。

関東のいずもさん社報

むすひ

令和5年6月

発行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢1221
TEL:0463-81-1122
メール info@izumosan.com

編集兼発行人
副分祠長 草山和泉
季刊毎年2回発行
https://www.izumosan.com/

音楽・和太鼓・武芸演舞・キッチンカー・露店ワークショップ・ライブ・ダンス・バルーンアート・マジック・ジャグリング
・イベント・パフォーマー募集
(プロフィール問合わせ)
詳細お申込みは公式サイト・メールにて。



境内参道にてキッチンカーや露店も楽しめる夏の風物詩。

七月八・九日(土日)
七月十六・十七日(土日祝)
十五時〜十七時

- ・秦野観光和太鼓・迫力の居合演舞なども開催
- ・ほおずき籠付き2000円
- ・切り花ほおずき1000円
- ・朝顔籠付き2000円

夏詣限定御朱印500円

- 【夏詣期間中の行事】
- ★は常設 ●は期間のみ
 - ★夏詣限定御朱印
 - ★疫病除け茅の輪くぐり
 - ★秦野名水のお水取り
 - ★水みくじ
 - ★湧水ミストシャワー
 - ★ストリートピアノ
 - 第二回出雲大社相模分祠写真風景画コンテスト展不会
 - 「ほおずき市・朝顔市」
 - 月遅れお盆参り
 - 八月十三日〜十六日
 - 小酒井基紘展
 - 「油彩画と綴れ織」
- 六月二十四日〜七月二日

秦野観光和太鼓
7月9日11:00~

居合演武
7月8日11:00~

夏に涼しげな水みくじも人気

夏風鈴 花手水

ニッポンの新しい習慣づくり

夏詣

なつもうで

- ・優勝 躍動(相模原)
- ・準優勝 七福よさこい連
- ・祝禧(東京)
- ・第三位 燦SUN(東京)
- ・出雲大社相模分祠特別賞時遊(横浜)
- ・ジャパンニユールアルファ
- ・チームズ特別賞
- ・SAGA 彩雅(東京)
- ・Icon 特別賞
- ・疾風乱舞(平塚)
- ・七福神特別賞
- ・dance company REIKA 組(東京)
- ・丹沢マルシェ特別賞
- ・どくとりOoo de踊らん会(平塚)

境内中央のソメイヨシノの愛称を募集。詳細は公式HP。

「四月八・九日」桜舞い散る中、五十チーム以上・千人以上の踊り手がよさこいを披露し、特別な奉納演舞が行われた。



公式チーム teamIZUMO 結成

優勝 躍動

南はだの村 桜まつり開催

空高く飛行機雲と満開の桜が美しい特別な一枚。境内の中心にある桜の木は、高さ二十層にもおよぶ巨大なソメイヨシノ。例年、開花は三月下旬から始まり四月上旬頃が見える。本年は例年より一週間近く早い開花でした。

桜まつり限定御朱印、秦野名水仕込みの甘酒、和菓子や串団子・夜には桜の提灯ライトアップなど様々な催しで参拝者をもてなします。

また、同時期、当分祠のすぐ近くに位置する、神奈川県で一番長い日本有数の桜並木「はだの桜みち」で、全長六、合計七〇本の咲き乱れる桜の様子もお楽しみ。

さらに、四月八・九日には「秦野元氣まつり春の陣2023」も盛況に開催。

- 《令和五年神事行事予定》
- ※変更の場合もあります
- 六月二十五日・三十日 七月二日 夏越の大祓茅の輪くぐり
 - 七月一日〜八月三十一日 夏詣(なつもうで)
 - 七月八日・九日・十五日 十六日・十七日 ほおずき市・朝顔市
 - 七月十三日〜十六日 (縁日)
 - 七月十三日〜十六日 (新暦お盆参り)
 - 祖霊社みたままつり
 - 八月月上旬 出雲大社教団大祭
 - (島根県) おくにごえり
 - 八月十三日〜十六日 (旧暦お盆参り)
 - 祖霊社みたままつり
 - 九月九日 出雲大社相模分祠例祭
 - 九月二十三日 秋分の日
 - 秋季祖霊大祭(祖霊社)
 - 旧暦十月十日〜十七日(新暦十一月二十二日〜二十九日)
 - 神迎祭・神在祭
 - (出雲大社島根県)
 - 十一月 七五三・菊花展
 - 十二月三十日 年越の大祓
 - 《令和六年》
 - 元日(一月一日) 節分
 - 初詣・ダイコク市・提灯ぼんぼりライトアップ(境内)
 - 二月三日 節分祭 豆まき神事
 - 二月四日(立春) く下旬梅まつり
 - 二月十一日 紀元祭
 - 二月十七日 祈年祭
 - 二月二十三日 天長祭(天皇誕生日)
 - 三月二十日 春分の日
 - 春季祖霊祭(祖霊社)
 - 四月月上旬 さくらまつり
 - 《毎月祭典》
 - ◆毎月一日 十時三十分 出雲大社相模分祠月次祭(参列自由・予約不要)
 - ◆毎月第一日曜日十五時 祖霊社・月次祭(みたままつり)
 - ◆(参列自由・予約不要)
 - ◆永代供養相談会(随時)

夏越の大祓のご案内

茅の輪くぐりの神事

六月の晦日、恒例の夏越の大祓(おおほらえ)並びに茅の輪くぐりの神事を齋行します。

齋行日
六月二十五日(日)
午後三時

三十日(金)
午後六時

七月 二日(日)
午後四時

予約不要。どなたでも自由に参加できます

玉串料 三〇〇〇円
(一世帯)

授与品 茅の輪飾り
御神菓

古来我々の先祖は、毎年六月晦日と年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい半年の幸せを祈願しました。「幸せ」のご縁をお授かりになりますようご案内申し上げます。



夏越の大祓とは

大祓神事の歴史は古く、大祓詞(中臣祓)は平安時代の法律書「延喜式」(九二七年)に記載され、古代豪族の中臣氏が司る宮中行事でもありました。人が生きる上で知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを取り除き、災厄を避け心身を清らかにすることを目的とした神事です。毎年六月の晦日、十二月の晦日の年二回行い、半年ごとの罪穢れをお祓いします。わ



けても、江戸時代以降はこの六月の夏越の大祓には茅の輪くぐりの神事が齋行され、江戸の庶民に広まったとされ、日本中の神社で齋行される伝統行事となりました。当分祠でも毎年欠かさず齋行する恒例行事であり、大きな茅の輪くぐりを手作りで製作しております。初夏に奉仕会の有志が秦野盆地の山に赴き茅を切り出し、それをシュロ紐で結びつけ人がくぐれるほどの大きな茅の輪を作成します。これが大変難しく茅の具合や締め付ける強さなど細心の注意を払う必要があります。均一な太さに編み込むには熟練の手技が必要とされます。

なんで茅の輪をくぐるの？

その答えは出雲神話(備後国風土記)に伝えられております。ヤマタノオロチを倒した素盞鳴尊(スサノオのミコト)が、旅をしている途中、蘇民将来(ソミンシヨウライ)、巨旦将来(コタンシヨウライ)という兄弟のところで宿を求めたところ、弟の巨旦将来は裕福であったにも関わらず宿泊を拒んだのに対し、兄の蘇民将来は貧しいながらも喜んで厚く饗しました。その数年後、再び蘇民将来のもとを訪ねた素盞鳴尊は「もし悪い病気が流行ることがあった時には、茅で輪を作り腰につければ病気がからない」と教えられました。

茅の輪くぐりの作法

大祓神事の際、茅の輪をくぐるには、必ず左右左右三周廻り、古式豊かな抑揚で和歌を唱えることが作法とされます。

「みな月の夏越の祓えする人はちとせの命のふといふなり」 一周目

「思ふ事みなつきねとてあさの葉をきりにきりてもはらひつるかな」 二周目

「宮川の 清き流れに 禊せば 祈れることの 叶はぬはなし」 三周目

夏越の大祓神事には例年百人以上の参詣者で賑い、和歌を歌いながら行列を組んで三周廻ります。茅の輪くぐりの神事を終えると、社殿に昇殿し改めて大祓詞を神職の先導の下、参拝者全員で唱和します。初めての人でも一度練習して

そして疫病が流行したときに巨旦将来の家族は病に倒れましたが、蘇民将来とその家族は茅の輪で助かったというのです。

この言い伝えから「蘇民将来」と書いた紙を門に貼るといいう信仰が生まれまし。茅の輪も当初は伝説のとおり小さなものを腰に付けるというものでしたが、江戸時代初期になり、大きな茅の輪をくぐるという神事になったと言われております。身近な場所や玄関先や神棚にお飾り下さい。



から皆様ご唱和頂くので安心してご参加頂けます。年々参加者も増え、日数回数を増やして大祓の神事に取組んでおりますが、多いときには社殿に入りきれないほどの盛況ぶりです。当日参加の方はお早めに受付をお済ませ下さいませ。



人形・車形の使い方

古くより禊や祓をする時に人間の身代わりとして人形を用いてきました。当分祠では夏の大祓の際に、人形(ひとがた)・車形(くるまがた)を形代(かたしろ)にして自らの罪穢れを移しお祓いします。人形の紙に氏名を記入し、息を三回吹きかけ、頭から全身気になる場所を撫でこすり、悪い気を取り移してお祓いします。

車形に住所・氏名・ナンバーを記入し同様に乗用車、バイク、自転車などの四方を撫でこすって罪穢れをお祓いし、当分祠にお納め下さい。

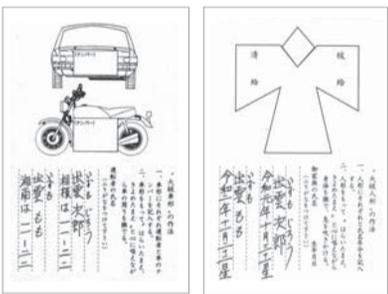
大祓神事の際、身代わりとしてお清めし、後ほど忌火をもってお焚き上げします。(人形・車形は授与所にもご用意しております)

【当日不参加の方・郵送される場合】

ご参列できない方は事前にお預かりの上授与品をお渡しします。人形・車形・玉串料を封筒に入れてご持参ください。

【郵送される場合】

ご参列叶わない方は郵便振込にて御祈願料を添えてご送金下さい。後日記念の縁起物を発送します。



七五三詣のご案内



七五三のお祝いとは、子どもたちに元気に育ってほしいとお祈りし三歳、五歳七歳と成長する様をお祝いの儀式です。

七五三とは三歳の男女の「髪置き」、五歳男子の「袴着(はかまぎ)」、七歳女子の「帯解き」のお祝いを指し、三歳・五歳・七歳の三つの祝い事をまとめて「七五三」と呼びます。

◆御祈願料
一万円・七千円・五千円
お子様の授与品として福袋(おもちゃ入り)・御守・千歳飴を授与。一万円以上神話紙芝居 授与。

◆祈祷受付時間
八時四十分～十六時三十分
(事前の予約は不要(混雑時を除き人数制限なし・おじいちゃんおばあちゃんも昇殿可))

◆耳寄り情報
十月より境内に期間限定で《七五三限定記念写真スポット》《祝い太鼓》を設営します。(無料)

※土日祝日は九時・九時半・十時・十六時半と三十分毎を目安に御祈願を齋行します。ご家族様お揃いの上受付をお済ませ下さい。

※平日は随時お申込みの順にて齋行します。十～三十分程度の待ち時間になります。

※混雑時は上記の限りではありません。また時間ごとに最大二十四組と一緒に御祈願を齋行します。※お付添いのご家族・おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に昇殿する事が出来ますが、七五三詣はお子様主役ですので土日大安の混雑時には保護者様以外はお席の確保ができない場合もあります。混雑情報は公式サイトで予め情報が得ますのでご参考にして下さい。

・七五三(帯直し)は暦の上では通常十一月十五日といわれますが、九月下旬から十二月中旬までの期間で来られる方が多いです。

御都合のよい時期にお越し下さい。それ以外の時期はお問合せ下さい。

※出雲記念館にて着付け・記念写真など絶賛受付中

境内ロケーション写真 思い出スナップ

当分祠に隣接されるレンガの建物「出雲記念館」の写真スタジオは三十年以上の実績があります。お宮参り、入学式、卒業式、結婚式、七五三、成人式など人生の節目に皆様の思い出が素晴らしいものとなりますよう、神社専属のプロカメラマンが撮影。最高の状態で製作します。

《思い出スナップ》

土日祝 二四二〇〇円
平日 一九八〇〇円
五〇カット以上写真データ納品。プリントアルバム別注可。ご家族様も一緒に思い出写真を残せます。
※お子様の体調不良や雨天時など不測の事態の延期を無料。安心サポート。



成人式

プロカメラマンと一緒に自分だけのアルバムを作ります。

七五三



お宮参り

出雲記念館 七五三・成人式 展示会



※事前予約がおすすめです

◎七五三衣裳・予約展示会
七月 八日(土)・九日(日) 予約サイト
十五日(土)・十六日(日)
十七日(月祝)
九月 九日(土)・十日(日)
九時〜十六時(予約優先)
◎成人式衣裳・予約展示会
七月十五日(土)・十六日(日) 成人式展示
十七日(月祝) 予約サイト
九時〜十六時(予約優先)



電話予約可：0463(84)1122



お申込みは QRコードから

豊富な経験を積んだ衣裳スタッフとお気に入りのお着物を探して下さい。満足できるまで試着もできるので安心です。

最新型ベビーケアルーム設置 子育て世代のお父さんお母さんを応援

戌の日の安産・お宮参り、七五三詣など、子育て世代のお父さんお母さんが気持ちよく安心してお参りできますように、出雲大社相模分祠隣接の出雲記念館一階ロビーに最新型ベビーケアルーム「manaro」(ママル)【IoT搭載・完全個室約一畳】を設置しました。授乳だけでなく、おむつ交換や離乳食、寝かしつけや着替えなど、幅広い赤ちゃんケアに自由にご利用いただけます。個室型で施錠ができるため、セキュリティも安心。性別問わず、子育て世代のお父さんも、もちろん利用が可能です。ママルの中には便利な充電コンセントや、子育て情報の動画コンテンツ・扇



風機なども設置され、個室の中で安心して休憩できます。お宮参りでお参りに来られたお母さんに聞くと「外出すると授乳できるスペースが無くて困ることが多い。お店の人にわざわざ聞かなくても使えるのは本当にありがたいです」とのこと。赤ちゃんと一緒に快適なお時間をお過ごし下さい。(無料・二〇分迄)

先祖供養は祖霊社で

出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結だけでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。日本では古来より神道文化の島国ではあるが、海外より多様な文化が習合され、とくに江戸幕府の政策により仏教の檀家制度が全国に広まった。それより以前から出雲大社では神道の供養を通して、庶民の葬式やお墓の問題に積極的に関わってきた。明治維新において、国家神道とは立場をわがち、神道の民間布教を通じて、神葬祭や埋葬の作法などを教導するに至った。



当分祠の傍らに鎮座する祖霊社は、日本人のご先祖様の御霊をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。

夏詣

熱中症対策に「秦野名水」を冷たいウォーターサーバー設置

夏詣期間中、隣接出雲記念館一階ロビーで当社千年の杜の湧水をウォーターサーバーにボトリング。熱中症対策に千年の杜より出ずる冷たい「ゆずりの水」をご参拝の皆様にご提供します(無料)。



丹沢山地と大磯(渋沢)丘陵に囲まれた秦野盆地は、神奈川県で唯一の盆地であり、地下には七億五千トンもの豊富な地下水が蓄えられております。慶長年間より湧水する境内の「ゆずりの水」は、平成二十七年に環境省が行った、名水百選三十周年記念「名水百選」選抜総選挙の「おいしさ」が素晴らしい名水部門で全国一位にもなった環境省選定名水百選秦野盆地湧水群のひとつでもあり、多くの参拝者がお水取りに訪れる憩いの場となっております。地下五十層より汲み出る湧水は、自然の力でろ過され、そのまま飲料できる貴重な水資源です。(保健所の調査を毎年実施しております)

祖霊社の神事

一 納骨堂の利用法
当社の信徒・崇敬者の方ならどなたでもご利用頂けます。実家が仏教でも、新たに神式に改めることも可能です。納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・供養を日々ご奉仕します。祖霊社のお預かり期間は原則として一年以上三十三年までとなります。弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、秦野の里山自然に還ります。のちの管理料などの不安問題も解消できます。たくさんの方々の祈りを集める祖霊社で安心の供養ができます。普段よりお参りに来られる神社で、初詣・季節のお参りの折に一緒に参拝することが出来ます。

一 祖霊社にて、毎月第一日曜日午後三時より合同のみたままつりを斎行しております(参加無料)。神楽をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご先祖様・愛する故人の御名前を一人ずつお読み上げて丁寧に供養致します。

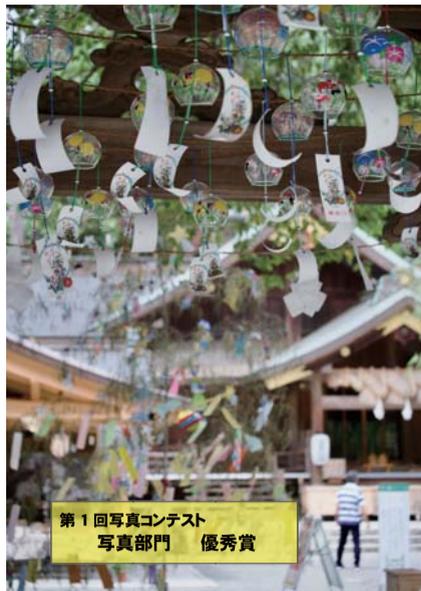
渋沢丘陵にある神道墓地 永代供養墓

納骨堂・神道墓地の永代供養料 永代供養料 三十三万円

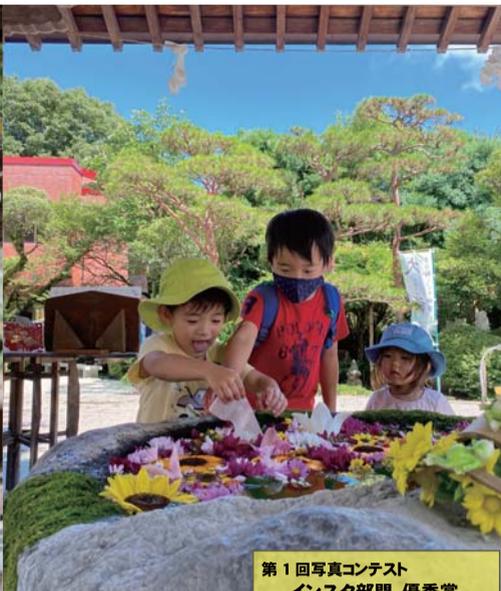


涼を誘う 湧水ミスト シャワーで おきてなし

夏詣期間中(七〜八月)、名水にちなんだ様々な企画を実施。熱中症が心配な夏のお参りですが、境内には休憩テントを設置し、「ゆずりの水」の湧水を使ったミストシャワーで涼んで頂けます。(雨天など中止)



第1回写真コンテスト
写真部門 優秀賞



第1回写真コンテスト
インスタ部門 優秀賞

季節の行事を楽しむ 第2回出雲大社相模分祠 写真・風景画コンテスト開催



7月 ほおずき市



11月 七五三
菊花展



第1回写真コンテスト
写真部門 優秀賞



第1回写真コンテスト
写真部門 優秀賞



第1回写真コンテスト
インスタ部門 大賞



第1回写真コンテスト
インスタ部門優秀賞

神前結婚式

「閉まっているけれども開いているクスツと笑えるシャッタープロジェクトはだの」。商店のシャッターに絵を描くことでまちを賑やかにしようとする「旅の絵師・しろひげ」ことカドワキノブオ氏を中心とした地域活性化プロジェクト。昨年十二月二十七日、出雲大社相模分祠直営の八雲庵のシャッターに描かれたのは、当分祠縁の力士たちの姿。伊勢ヶ濱部屋の親方と親交があり、日馬富士という名前も草山清和分祠長の名づけである。完成した絵を前にした日馬富士さんは「ストーリーがあって素晴らしい。このようなシャッターは見たことがない。前を通りがかった人たちを楽しませることができると感想を話した。この日は店先で餅つきも行われ日馬富士さんも参加。体の大きい日馬富士さんが杵を手に力いっぱい餅をつくると、参加者から歓声が上がった。つきたての餅は参加者に振る舞われた。シャッターアートの観覧は閉店時間の十五時〜午前九時頃。店内に原画の展示有。※夜間ライトアップ有・日没から二十一時迄

秦野シャッタープロジェクト参画 「八雲庵」にシャッターアート制作

応募作品の返却不可。サイズ・条件等、詳細公式サイト・パンフレットを要確認。

受賞作は出雲記念館で展示・ポスター・社報で使用・掲載。

八月に隣接出雲記念館で「第2回 出雲大社相模分祠 写真風景画展」を開催。

当分祠をテーマとした様々な写真・風景画を広く募集する「第2回 出雲大社相模分祠 写真風景画コンテスト」開催
 応募締め切り 令和五年七月二十日
 参加無料 一人3点迄
 ●一般写真部門・・・応募票に必要な事項を明記し、応募写真の裏にテープで貼り付け、授与所に直接お渡しするか、郵送で応募下さい。
 ●のび写真部門・・・インスタグラムで投稿して下さい。#出雲大社相模分祠写真風景画コンテスト
 各部門 大賞(二万円) 優秀賞(一万円) 入選(景品)
 ●風景画部門・・・詳細パンフレット



八月に出雲記念館にて写真展とあわせて同時開催。

令和五年は
風景画コンテストも同時開催
協力・スケッチ倶楽部
「しろひげ塾」

春より、恒例の菊づくり教室が始まった。秋には一〇〇鉢以上の美しい盆菊が参道に飾られ、参拝者を楽しませる。



六月はアジサイ見ごろ
十一月は菊花展 開催
六月になると、青やピンク色に色づいた花を咲かせる紫陽花(アジサイ)。小さな花が集まって、丸い花の形を作っている姿がかわいらしい。アジサイ写真スポット、紫陽花花手水設置

日馬富士さんは幼い頃から絵を描くのが上手で自らの絵画展を開くほどの腕前



和菓子処
八雲庵
昔ながらの手作り製法